

SDGsとは

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



持続可能な開発目標 (SDGs: Sustainable Development Goals) とは、貧困や格差、気候変動など様々な問題に対して持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標です。2015年の国連サミットにおいて「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の中で掲げられ、全ての加盟国が合意しました。2030年を達成期限として、17のゴールと169のターゲットから構成されている国際目標です。

SDGsは、地球上の「誰一人取り残さない (leave no one behind)」ことを誓っています。発展途上国だけの問題ではなく、先進国も含めたすべての国における普遍的な目標として世界各国が協力し、目標達成に向けて取り組みを行っています。

SDGsは国連サミットで合意された世界の共通目標ですが、決して国や自治体だけが取り組む問題ではありません。私たち一人ひとりの行動がSDGsにつながっています。この資料の中でSDGsにおける17のゴールとそれぞれの目標に対して私たちができることをご紹介します。

SDGsの歴史

SDGsには、17のゴール(目標)と、それらの目標の詳細内容および実施手段を定めた169のターゲット(指標)が設定されています。これらの目標達成の過程において非常に重要な観点が「誰一人取り残さない (leave no one behind)」という考え方です。

この背景には、過去の開発や支援のあり方、取り組みに対する反省があります。国際機関や各国政府はSDGsの前身であるミレニアム開発目標 (MDGs: Millennium Development Goals) を土台に、2000年~2015年にかけて貧困削減や飢餓の根絶に向けて取り組みを行ってきました。その成果は大きく、貧困率や飢餓は大幅に減少し、教育へのアクセスも拡大しました。しかし、取り組みやすい活動や結果の得られやすい課題に優先的に取り組んだ結果、開発や支援から取り残される人々が出てきました。このような反省を踏まえて、SDGsでは「誰一人取り残さない」ことを理念に掲げ、全ての国が普遍的に取り組む国際目標となっています。

ミレニアム開発目標: MDGs

2001年~2015年

- ・8つのゴール
- ・21のターゲット
- ・途上国の目標
- ・専門家の主導

持続可能な開発目標: SDGs

2016年~2030年

- ・17のゴール
- ・169のターゲット
- ・すべての国の目標
- ・全加盟国で取り組み

- ・「誰一人取り残さない」
- ・私たち一人ひとりの行動が目標達成につながっている

SDGs達成のために

2019年に開催されたSDGsサミットでは、進展しているもののあるべき姿からは程遠く、2030年までを『行動の10年』とする必要がある、といったSDGsの進捗に対する危機感が表明されました。

SDGs達成に向けた道のりは決して順調ではありません。私たち一人ひとりが理解を深め、身近なことから取り組み、当事者という意識をもって行動することが『行動の10年』の中で求められています。

紙リサイクル×SDGs

SDGs達成のためには身近なことから取り組む必要があります。

例えば「紙リサイクル」もSDGs達成に大きく貢献しているのです。

紙は使用された後、古紙として分別・回収を経て、再び新しい紙に生まれ変わります。正しく分別を行いリサイクルを進めることで資源の有効活用やごみの削減を図ることができます。

近年、地球温暖化に伴う気候変動やマイクロプラスチックなどの海洋問題など様々な環境問題に直面しています。その中で、紙を効果的に使用し、進んでリサイクルを行い、皆で紙リサイクルがSDGsに紐づいていることを意識しながら、目標達成に貢献していきましょう。

より効果的に紙リサイクルを進め、SDGs達成に貢献するためのコツを紹介します。

12 つくる責任
つかう責任



15 陸の豊かさも
守ろう



正しく分別しよう

紙

リサイクルを進めていくためには、古紙の分別を行うことが大切です。

新聞や雑誌、段ボールなどそれぞれの地域で定められた古紙の分別区分があります。

「紙」だからといって一緒にまとめてしまうのではなく、種類ごとに分けて排出しましょう。



禁忌品

紙の中には再び紙にリサイクルすることができない「禁忌品」と呼ばれるものがあります。これらを古紙に混ぜてしまうと製品の品質低下や機械の故障の原因となってしまいます。古紙を分別する際は、禁忌品を混ぜないように注意しましょう。

禁忌品に関する啓発資料



リサイクルされた製品を使おう

消

消費者としてリサイクルされた製品を積極的に使うこともSDGs達成に貢献できます。パッケージに表示された様々な環境マークを確認し、消費者として責任をもって「持続可能な商品」を使用するようにしましょう。

グリーンマーク

古紙を規程の割合以上使用した製品につけられるマークとしてグリーンマークがあります。このようなマークのある製品を選択し、使用していくことでもSDGs達成に貢献することができます。



グリーンマーク

じぶんゴト

SDGsは国や自治体だけが取り組む目標ではありません。私たち一人ひとりの行動がSDGsにつながっていることを認識し、身近な生活や行動を捉えなおす「じぶんゴト化」が大切です。

私たちの身の回りから変えられることはたくさんあります。今日から早速一緒にやってみましょう！

リサイクルしよう

使

い終わったものも正しく分けてリサイクルすれば資源になります。ビン・缶・ペットボトル・古紙など自治体の決まりにしたがって分別を行いましょう。また、リサイクルされた商品積極的に選ぶこともSDGsにつながります。



使わない電気は消そう

電

気は私たちが豊かに暮らしていくうえで不可欠なものです。その電気の多くは発電所で石油や石炭と言った化石燃料を元にしたエネルギーが中心です。使っていない部屋を消灯したり、エアコンの設定温度を調節することで使用する電力を減らし、省エネに努めましょう。



水を出したままにしない

世

界には安全な水にアクセスできない人々がたくさんいます。普段からこまめな節水を心がけましょう。例えば、1分間シャワーを使うと約12Lもの水を使用します。こまめに蛇口を閉め、水の使い過ぎに気を付けて節水・省エネに努めましょう。



地産地消を心がけよう

地

産地消とは、地元で生産したものを地元で消費することです。地元で買物をするすることで、地域の経済が活性化し農業などの生産者の保護・活性化につながります。また、フードマイレージ（食品輸送にかかる温室効果ガスの量を評価）の観点からもSDGsに貢献できます。

